

第4回



U-11少年少女サッカー大会

2018

JCカップ



神奈川ブロック予選大会

6月23日(土)

会場

星槎箱根仙石原総合型
スポーツクラブ

足柄下郡箱根町仙石原817-255

JCカップとは

「JCカップ」とは、公益社団法人日本青年会議所が支援する少年少女サッカー大会です。国際的に最も盛んなスポーツとされるサッカーを通じて、地域の未来に希望をもたらす人材を育むと共に、地域の活性化につなげることを目的としています。

※本大会は小学5年生以下の8人制サッカー大会です。

主催：公益社団法人日本青年会議所 関東地区 神奈川ブロック協議会
問合せ：JC運動連携推進委員会 副委員長 中島隆介(090-4450-4828)

サッカークリニック出演者紹介

湘南ベルマーレ

湘南ベルマーレは、1993年にベルマーレ平塚の名前でJリーグに加盟し、2000年に湘南ベルマーレの名前に変更しました。2017年はJ2で首位を独走し、2017年10月にJ2優勝と1年でのJ1復帰を果たしました。2018年はJ1での戦いとなります。

大きなスポンサー企業を持たない地域クラブとして、「地元へ恩返しすること」をチームが提供する価値の一つに掲げています。このたび、鎌倉市がホームタウンの一員に加わり、合計9市11町の20自治体がホームタウンになりました。

また、2002年Jリーグ百年構想に沿った総合的なスポーツクラブ作り定着を目指して、特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブを新たに設立し、ヨーロッパの総合型スポーツクラブのように、サッカーを中心とした多種多様なスポーツを、ホームタウンの人々が気軽に楽しめるスポーツクラブづくりを目指しています。

岩本輝雄（元日本代表）

1972年、神奈川県横浜市出身。横浜商科大高校卒業後の1991年、フジタ工業/ベルマーレ平塚(現:湘南ベルマーレ)に入団する。1994年3月12日、ヴェルディ川崎(現東京ヴェルディ)戦でJ1デビューを果たすと、天皇杯優勝に貢献。同年には、日本代表にも選出された。(国際Aマッチ:9試合出場2得点)以後、Jリーグでは京都パープルサンガ(現:京都サンガ)、川崎フロンターレ、ヴェルディ川崎、ベガルタ仙台、名古屋グランパスエイトでプレー。J1通算191試合出場32得点の記録を残している。名古屋グランパス退団後は、怪我に長期間苦しみリハビリに励む。そして、2006年10月ニュージーランド・オークランドFCと短期契約を結ぶと、同年11月、「クラブワールドカップ」という大舞台で約2年2ヶ月ぶりに公式戦復帰を果たした。現在は、サッカーの解説や各種メディアへの出演を行う傍ら、子供向けのサッカー教室や、講演・トークショーなどでも活躍している。

JCカップは「グッドルーザーの精神」を育みます！

現在、少子化・核家族化によって地域社会の交流が希薄になってしまったことで、他社や弱者を思いやる心、優しさや協調性、連帯感など、社会生活をするのに必要な人間性を自然に育める機会や場が非常に少なくなっています。そこで、スポーツを通じて体を丈夫にするだけでなく、目標に向かって努力する意欲を培い、仲間意識や責任感、犠牲的精神、リーダーシップ、社会性といったものを育む機会が必要です。現在の勝利至上主義は、ともすると多少ずるいことをしても、あるいはアンフェアなプレーをしてでも、勝ちさえすれば許されるという誤った意識を生んでしまう恐れがあり、子どもの試合などでも、大人が一生懸命になるがあまり、平気で相手に対し野次を飛ばしたり、応援しているチームに対しても子どもの失敗を責めてしまう指導者や親が多くいるようです。それでは、スポーツマンシップを育むどころか、自立心や意欲、失敗を恐れない強い気持ちまで削いでしまいます。そこで、グッドルーザー＝勝っても負けても、相手を思いやる大きな心と強い精神力を身に着けることが必要とされているのです。青少年が今学ぶべきは、「良き勝者であり、良き敗者」の精神なのです。